

# 1 コロナ禍で顕在化した課題への対応

5年度当初 1,029,046千円  
〔+4年度2月補正 462,850千円〕

## 【基本的な考え方】

長期化するコロナ禍で顕在化した様々な困難を抱える子どもたちへの対応を強化するため、学校を支援のプラットフォームとして、子どもたちの相談体制の強化や生活困窮支援を行う。

また、学校における感染症対策についても、継続して実施する。

## 1 子どもたちが抱える困難への対応

917,688千円

### ① スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置拡充

スクールカウンセラー（SC：臨床心理士等）及びスクールソーシャルワーカー（SSW：社会福祉士等）の配置を拡充し、相談体制を強化する。また、困難を抱える子どもを早期に把握し、相談から医療・福祉へとつなぐ「かながわ子どもサポートドック」を新たに実施する。

891,006千円

- ・各県立高校と各県立中等教育学校に週1日配置  
SC 96人 ⇒ 140人、SSW 60人 ⇒ 140人
- ・市町村立小・中学校は配置を拡充  
SC 198人 ⇒ 264人、SSW 50人に加え、新たにSSWアドバイザー4人を教育事務所に配置

### ○ その他

SNSを活用したいじめ等相談事業費など2事業

26,682千円

## かながわ子どもサポートドック

学校を支援のプラットフォームへ

### 困難を確実にキャッチする

① 1人1台端末(DX)等を活用し、  
すべての子どもが自己チェック

② SC、SSW、教職員が、  
困難を抱える子どもを把握

### 「アウトリーチ」につなぐ

③ SC、SSWによる  
子どもへのプッシュ型面談

④ 校内ケース会議で支援方を検討し、  
医療や福祉の「アウトリーチ」につなぐ

### かながわ子どもサポートドックとは…

SOSを出せない子どもたちが抱える困難も確実にキャッチし、プッシュ型面談などにより医療・福祉等のアウトリーチにつながります。



2 子どもたちへの生活困窮支援

29,072 千円

② 県立高校での朝食の提供

経済的な理由等で食事をとれない県立高校の生徒を支援するため、NPO法人等による居場所カフェの取組を実施している4校（全日制3校、昼間定時制1校）で、在校生の希望者へ朝食を提供する。	11,588 千円
--	-----------

③ 県立高校での夕食の提供

夜間定時制13校の生徒が、栄養バランスの良い食事をとることで学ぶ姿勢を整えるため、生徒の費用負担を軽減した夕食を提供する。	14,201 千円
---	-----------

④ 県立学校女子トイレへの生理用品の配備

県立学校に在籍する生徒が、生理用品の確保に不安を感じることなく、より安心して学校生活を送れるよう、すべての県立学校で女子トイレに生理用品を配備する。	3,283 千円
--	----------

3 新型コロナウイルス感染症対策

82,286 千円

[+4年度2月補正 462,850 千円]

⑤ 県立学校における保健衛生用品の購入等

県立学校において、感染拡大防止対策のため、保健衛生用品や換気用備品の購入などを行う。	[4年度2月補正 454,500 千円]
--	-------------------------

⑥ 特別支援学校スクールバス感染症対策事業費

県立特別支援学校において、1台のスクールバスに乗車する児童・生徒の少人数化を図るため、マイクロバスの運行を行う（8台⇒9台）。	66,096 千円
---	-----------

○ その他

入学者選抜感染症対策費など6事業	16,190 千円
公立幼稚園マスク等購入支援事業費	[4年度2月補正 8,350 千円]

(問合せ先)

【①（市町村立小・中学校）】

教育局支援部子ども教育支援課 課長 <sup>しもぞり</sup> 下反 電話 045-210-8212

【①（県立学校）】

教育局支援部学校支援課 課長 能條 電話 045-210-8210

【②】 教育局指導部高校教育課高校教育企画室 室長 渡貫 電話 045-210-8370

【③・④】 教育局指導部保健体育課 課長 富澤 電話 045-210-8300

【⑤】 教育局行政部財務課 課長 山下 電話 045-210-8100

【⑥】 教育局支援部特別支援教育課 課長 片山 電話 045-210-8214